

令和4年3月

普及活動報告

持続性の高い農業生産方式導入計画(変更)認定に係る説明会を開催

(2日)



エコファーマーの導入計画について説明

犬甘野営農組合では、統一の栽培暦で水稻を生産・直売し、さらに付加価値を高めるために組合員がエコファーマーの認定を受けています。そこで、令和4年度の再認定者、新規認定者を対象に説明会を開催しました。

エコファーマーの認定申請書、導入計画等について説明したところ、出席した生産者から多くの質問や意見が出され、活発な意見交換の場となりました。

今後も普及センターは、環境にやさしい農法に取り組む営農組合の活動を支援していきます。

場 所 亀岡市西別院町
犬甘野営農センター
出席者数 19名

犬甘野営農組合エコファーマー認定者42名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年3月

普及活動報告

京都産直センターが万願寺とうがらし 生産者の研修交流会を開催

(9日)

農民連京都産直センターが万願寺とうがらしの栽培研修会を開催され、普及センターは栽培管理のポイントについて講義を行いました。

近年の長雨や高温・干ばつなどの影響により生産が不安定になっているため、講義では排水対策や整枝・せん定、病虫害防除等の基礎技術を確認しながら気象変動に対応した栽培管理のポイントを説明しました。

生産者からは、斑点病や炭疽病の防除方法について質問があり、薬剤防除だけでなく被害葉の除去や連作回避、土づくりの徹底等を説明したところ、総合的な対策が必要であることが理解されました。ベテラン生産者が多い中、若手の生産者も数名参加され、次年度の栽培に向け情報共有の場となりました。今後も普及センターは万願寺とうがらしの栽培技術支援を進めていきます。

場 所 京丹波町わち林業センター
出席者数 30名



基礎技術を確認しながら栽培ポイントを説明

農民連京都産直センターでは万願寺とうがらしを重点品目の一つとして位置づけ、生産量の確保を目指している

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年3月

普及活動報告



普及センターから初期管理について説明



検討会終了後GAP点検表の確認

令和4年産の賀茂なす生産に向けて～ JA京都京野菜部会亀岡支部賀茂なす 部会が作付検討会議を開催～

(亀岡市：18日)

昨年の賀茂なす生産は、大雨に伴う湿害により、樹勢の低下や生育不良が多く見られました。普及センターからは、その対策として高畝栽培を紹介するとともに、定植準備としてトンネル被覆による地温確保について説明しました。また、定植時にはトンネル内を高温多湿に保ち、土の乾き具合を観察しながら適宜灌水をするなど、初期管理について説明しました。

検討会終了後は地区ごとにグループに分かれ、GAP点検表を相互に確認しました。

場 所 JA京都亀岡中部支店

出席者数 18名

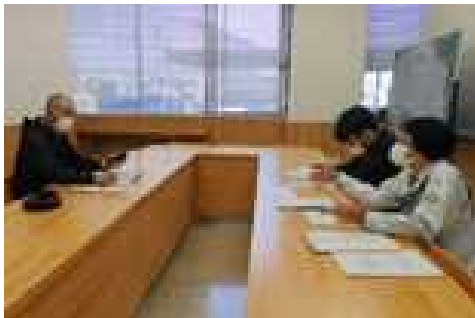
令和4年度JA京都亀岡支部賀茂なす部会員 18名

令和4年苗注文本数 4,160本（前年4,251本）

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年3月

普及活動報告



各農業者について30分間の相談時間を設け、
各会議室で個別に対応

「京都丹波農業応援隊個別相談会」を開催

(16日)

経営規模の拡大や6次化、スマート化等に取り組もうとする農業者の参加を募り、個別に対応する相談会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に引き続き農業者や関係者を一堂に集めた「事業説明会」は開催せず個別相談会のみとし、経営改善に向けた様々な相談や要望を聞き取り、関連する補助事業の紹介や採択要件などの説明に加え、今後に向けて整理すべき事柄などについて助言しました。

普及センターは今後も、関係する応援隊メンバーと情報共有しながら、経営改善目標の実現に向けた支援を進めます。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 41名

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年3月

普及活動報告

高品質の壬生菜生産を目指して～JA京都日吉壬生菜部会が壬生菜栽培研修会を開催～

(南丹市：24日)



出荷物の目合わせ

研修会では、生産者相互で出荷物の目合わせが行われた後、出荷状況についてJAから報告がありました。普及センターからは、ハウスの温度管理や病虫害対策、抽台についての注意など、今後の管理について説明しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で生産者が集っての取組みが困難な中、JAからは現場での対応に力を入れていくとの説明がありました。普及センターは、関係機関と連携しながら、高品質な壬生菜生産に向けて支援していきます。

場 所 JA京都日吉支店

出席者数 17名

JA京都日吉支店壬生菜部会壬生菜生産者：18名

3月27日の「壬生菜の日」での販促については、今年は中止

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年3月

普及活動報告



農林センターからべと病予防対策について説明



「EB-a」実演
奥：EB-a処理



普及センターから現地試験について説明

令和4年度タスクチーム活動に向けて ～ネギべと病及び黒斑病対策現地試験 説明会を開催～

(24日)

べと病の発生予測方法と天気予報に基づいた防除時期の判断方法及びべと病、黒斑病の特徴について、農林センターから説明されました。また、今回供試する土壌改良資材「EB-a」について、製造メーカーからその特性や使用方法の説明と実演が行われ、同資材を使用した現地試験の内容については、普及センターから説明しました。

べと病の予防防除技術は、すぐに取り組める内容で参考になったものと思われます。また、土壌改良資材への関心が高く、試験結果についても報告会を開催の予定です。

場 所 園部総合庁舎

出席者数 17名

管内在住のネギ専作農家約16戸（法人含む）、
栽培面積約35ha

京都府南丹農業改良普及センター